

平成30年調査結果の概要

● 出生数は減少

出生数は42,008人で前年より1,430人減少し、人口千対の率は8.3（前年8.6）であった。

合計特殊出生率は1.49で、前年の1.51を0.02下回った。

● 死亡数は増加

死亡数は53,309人で、前年より779人増加し、死亡率（人口千対）は10.6（前年10.4）であった。

死因順位の1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳血管疾患であった。

死亡数に占める割合は、悪性新生物29.0%、心疾患12.0%、肺炎7.5%で、以下脳血管疾患7.4%、老衰5.5%と続いている。

● 自然増減数は減少

自然増減数（出生数から死亡数を減じた数）は-11,301人で、前年の-9,092人より2,209人減少し、自然増減率は-2.2で、前年の-1.8を0.4下回った。

● 死産数は減少

死産数は955胎で、前年の1,073胎より118胎減少し、死産率[出産（出生＋死産）千対]は22.2で、前年の24.1を1.9下回った。

● 婚姻件数は減少

婚姻件数は25,265件で、前年の25,887件より622件減少し、婚姻率（人口千対）は5.0で、前年の5.1を0.1下回った。

● 離婚件数は減少

離婚件数は9,624件で、前年の9,606件より18件増加し、離婚率は1.91で、前年の1.90を0.01上回った。